

標本No. SO-090923D

2009年10月1日
19:37

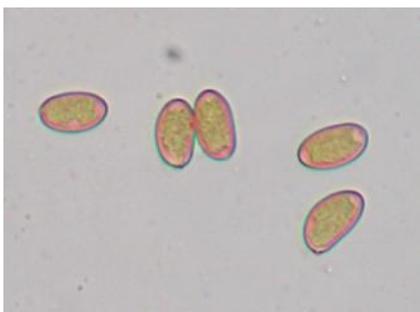
同定: *Inocybe fastigiata* オオキヌハダトマヤタケ
採集日: 2009.9.23
採集地: 岡山県真庭市 蒜山高原
採集者: 不明

考察: 基部が膨らまないなどの外見から、オオキヌハダトマヤタケだろうと仮同定していたが、顕微鏡的所見もほぼ一致するようなので、オオキヌハダトマヤタケとした。強いアセタケ臭を持つ。

ところで、Index Fungorum では、*I. fastigiata*は、*I. rimosa* のsynonymとなっているが、これは確定しているのだろうか? <http://www.indexfungorum.org/Names/SynSpecies.asp?RecordID=240925>



顕微鏡的特徴:



Spore: (9-)10.4-11.9(-13.6) x 5.6-6.3(-6.8)um,
Q=(1.6-)1.75-2.0(-2.3), Vm52

参考データ:
新菌類図鑑: 8.5-11.5x5.5-6.5um
T. Kobayashi: 8.3-11.5x5.5-7.0um



Cheilocystidia: 薄膜棍棒状で、連鎖上のものも混じる。Plはなく、胞子も平滑であることからRimosae節に落ちる。